

特集 市長施政方針



とも十分調整しながら、長門広域圏において、他に誇れるリサイクルシステムづくりを目指したいと考えております。

21世紀は、人と人・人と自然との共生の時代であると思います。お年寄りや障害者、子供や自然環境にやさしいまちは、また、全ての人に優しいまちでもあります。金子みすゞさんが詩の中で詠んだ「小さいもの、弱きもの、見えぬものへの思いやり」を行政の中心として、この長門市をすばらしい、本当に住んでよかったと実感できるまちにするためにも、「福祉・環境のまちづくり」に全力をあげて参りたいと存じます。

若さと活力のある

まちづくり

第2点は、「若さと活力のあるまちづくり」であります。

人口減少による過疎化の進行にどう歯止めをかけるか、若者が働ける職場をどのように確保するのか、観光客の減少をどうくいとめるのか、極めて困難な課題であります。行政と市民・事業者の方々との一致協力のもとに、地場産業の振興、特に、農林水産業や商工業、そして観光産業の振興が重要であります。

農林水産業では、生産者や農業団体等との意志の疎通を十分図りながら農産品、鮮魚、水産加工品などのブランド化への支援策を進めるとともに、専業農家や漁業者

への支援につきましては、国、県と一体となり一次産業が自立できる経営体質強化のため、補助並びに融資制度などの諸施策の推進を図りたいと考えております。

観光振興につきましては、その集客力、雇用力、経済波及効果の面からも、山口県観光基本計画にもありますように、「21世紀の基幹産業」として位置付けるとともに、通・仙崎・深川・俵山の市内全域にある恵まれた観光資源を活かすため、関係団体をはじめ事業者や地域住民のご意見、お考えをお聞きし、県下に誇れるきれいな観光地づくりを目指したいと存じます。

長門市観光基本計画

また、地域の特性を行かした新しい名所・名物づくり、さらには他の観光地との競争に打ち勝てる観光地づくりのため、「長門市観光基本計画」の策定を目指したいと考えているところであります。

また、若い方々が働きやすい職場環境づくりを推進するとともに、Uターン者採用支援策につきましても、国・県とも連携をとりながら進めて参りたいと考えております。さらに安価で利便性のよい住宅および住宅地等の整備につきましても民間の協力も得ながら進めて参りたいと存じます。

さらに、山陰自動車道の整備路線への格上げや、県道下関長門線の改良をはじめとした、幹線道路網の整備を国・県に



強く働きかけて、その実現を図るとともに、市道、上下水道、児童公園など住環境の整備促進を図って参りたいと考えております。

教育・文化・スポーツ振興プロジェクト

「教育・文化・スポーツ振興プロジェクト」として、老朽校舎の計画的な建て替えや文化・スポーツ団体の活動支援、滝の下スポーツ公園整備等を進めて参りたいと考えております。

特に、文化行政につきましては、近松事業を核とした取り組みから、市民合意